



Eolis 3 D Wirefree RTS



JP - 施工手順書

KR - 설치설명서

EN - Installation instructions

Ref. 5067737B



JP 施工手順書

エオリス3DモーションセンサRTSはフォルディングアームタイプ、ボックスタイプ、カセットタイプのテラスオーニング向けに設計されたコードレス3次元モーションセンサです。ソムフィ製RTSタイプのモーター、リモコン、センサを組み合わせてご使用いただくのです。

エオリス3Dセンサは、オーニングが風を受け振動するとオーニングが自動的に巻き上げられます。オーニングの振動検知は、エオリス3Dセンサの設定検知感度により異なります。

エオリス3Dセンサは、突風や暴風、台風などからオーニングを保護するものではありません。それらが予想される時は、必ずオーニングを巻き上げてください。

1. 安全上のご注意

本製品の施工は、本製品の施工と動作確認について説明するものです。

施工時には関連法規を遵守し施工してください。

施工後は施主にメンテナンスの方法を説明してください。

当社の規定を超える範囲での施工、使用方法による故障は保証の対象外となりますのでご注意ください。

2. 振動検知感度

2.1. 感度設定ツマミでの設定

感度設定ツマミの位置を変更することにより、振動検知感度を調整することができます。下記は、振動検知感度の数値化したものです。

- ・ツマミ1 = 検知感度最大(敏感): 弱い振動でオーニングを巻き上げる。
- ・ツマミ2 = 検知感度最大(鈍感): 強い振動でオーニングを巻き上げる。
- 工場出荷時はツマミ2に設定されています。

2.2. ユーザー設定

感度設定ツマミ0を選択することで、ユーザーが検知させたい振動検知感度を設定することができます。

オーニングを手で揺らして振動を与えることでその振動検知感度をエオリス3Dセンサに登録します。

ただし、与えた振動がツマミ2の値より小さい場合は、ツマミ2の振動検知感度に自動的に戻ります。

振動検知感度が決定されるとエオリス3Dセンサは自動的にデフォルトに入り、振動検知感度の確認や再調整を行うことができます。

3. 各部名称

- 1. ケース
- 2. センサ
- 3. プレート
- 4. 感度設定ツマミ
- 5. プログラムボタン
- 6. アルカリ電池(単4)

4. 施工

4.1. 施工

エオリス3Dセンサはオーニングのフロントバーの端または中央に固定してください。端に固定する方が振動を検知しやすくなります。

注意! エオリス3Dセンサをフロントバー内部に固定しないでください。

注意! エオリス3Dセンサ(2)はプレート(3)に固定されていない状態では動作しません。

注意! エオリス3Dセンサからの電波到達距離は最大20mです。

4.2 6 M h z 帯の無線通信機器はエオリス3Dセンサの通信機能に影響を与えることがあります。

4.2. プレートの固定

注意! 固定用の部品は、施工現場に合わせて選択してください。

4.2.1. 接着テープによる固定

注意! 付属の接着テープ以外は使用しないでください。

・プレート(3)はフロントバー裏側の平らな場所に固定してください。

・エオリス3Dセンサがオーニングの間隙を妨げないこと、また閉じた時にオーニングがセンサに接触しないことを確認してください。

・接着する前に、フロントバーの汚れをわけてください。

・接着テープを準備してください。

・接着テープをプレート(3)につけて、矢印が刻印されている面が上になるように固定してください。

4.2.2. ネジによる固定

プレート(3)は2本のφ4mmネジナットで固定することもできます。(ネジは付属していません)

・プレート(3)をフロントバー裏側の平らな場所に位置させてください。また、エオリス3Dセンサがオーニングの間隙を妨げないこと、また閉じたときにオーニングがセンサに接触しないことを確認してください。

・プレート(3)の穴位置に合わせてフロントバーに穴を2つあけてください(イラストF参照)。

・プレートを固定してください。この時、必ず矢印が刻印されている面を上にごってください。

▶ イラストA参照

▶ イラストE参照

▶ イラストD及びF参照

4.3. 電池の装着

注意! 充電式電池は使用しないでください。

・電池のふたを外す際はマイクドライバーを使用してください。

・付属のアルカリ電池(6)を表示の極性に従って装着してください。

・正しく装着されると、エオリス3DセンサのLEDが1秒間点灯します。

▶ イラストE参照

KR 설치설명서

본 무선제품은 독립적으로 작동하는 3D 움직임을 감지 센서이다.

본 제품은 바람이 불 때의 흔들림을 감지하여 어닝을 자동으로 닫히도록 한다.

센서에 설정된 민감도 한계값에 따라 흔들림을 감지한다.

본 제품은 캐노피 어닝, 박스 어닝, 카세트 어닝 등 다양한 용도를 가진 테라스 어닝을 위해서 디자인되었다.

본 제품은 송파의 RTS 모터, RTS 리모컨 및 RTS 센서와 호환된다.

본 제품은 민감스러운 동종으로부터는 어닝을 보호할 수 없다. 이러한 기상적인 위험이 있을 경우에는 어닝을 닫아두도록 한다.

1. 안전성

본 제품은 반드시 전문적인 전동 및 홈 오토메이션 기술이 있는 사람에 의해서 설치되어야 한다.

본 제품에 관련된 장치 및 액세서리들과의 호환성을 먼저 확인 후 제품을 설치하여야 한다.

본 설명서는 제품의 설치, 연결 및 동작에 관한 내용이다.

또한, 설치자는 본 제품이 설치될 국가의 표준, 법규 및 잘 확인하고, 사용자에게 제품과 관련된 사용법 및 유지수리의 내용을 고지하여야 한다.

송파에 의해 정의되지 않은 제품에 적용할 경우, 제품의 보증이 되지 않는다.

본 설명서가 명시되지 않은 어떠한 사용에 대해서도 송파의 보상은 책임이 없다.

2. 조정 방법

2.1. 사전설정 한계값 조정 방법

사전설정 한계값의 조정은 전위차기에 기 설정된 한계값을 중의 한 값에 따라 흔들림을 감지하도록 설정된다.

각각의 값은 흔들림의 민감도에 따른 한계값을 나타낸다.

・ 한계값 1 = 흔들림에 대한 높은 민감성: 약간의 흔들림에도 어닝이 닫힌다

한계값 9 = 흔들림에 대한 낮은 민감성: 강하게 흔들려야 어닝이 닫힌다

한계값 2는 보통 일반적인 상황에서 흔들리는 민감성을 제공한다.

공정출고 상태에서, 본 제품은 한계값 2에 설정되어 있다.

2.2. 개별화된 한계값 조정 방법

개별화된 한계값 조정은 사용자가 설정한 한계값의 민감도에 따라 흔들림을 감지하도록 한다.

어닝이 자동으로 닫히기 시작할 때까지, 어닝을 손으로 흔든다.

4.2. 지지대 장착하기

주의: 여러 가지 취부방법을 조합하여 사용하지 않도록 한다.

4.2.1. 접착제로 고정하기

주의: 공급된 접착제를 사용하도록 한다.

항상 송파가 공급하는 접착제를 사용하여야 한다. 이외의 접착제의 사용은 금지되어 있다.

・ 접착제로 고정할 수 없는 평평한 바의 안쪽 표면에 지지대(3)를 고정시키도록 한다.

・ 본 제품을 설치하려는 위치는 어닝의 동작에 방해가 되지 않고, 센서가 손상되지 않는 위치이어야 한다.

・ 바를 손으로 닫는다.

・ 접착제를 준비한다.

・ 지지대(3)에 접착제를 붙인다.

・ 지지대에 새겨져 있는 화살표 방향이 위를 향하도록 바에 고정시킨다.

▶ 그림 C 참조

4.2.2. 지지대를 고정하는 다른 방법들

지지대(3)는 2개의 지름 4mm 등간거리 모양 스크루, 2개의 지름 4mm 더리크 파인 스크루, 2개의 지름 4mm 더리크 또는 2개의 송파 고정용 액세서리를 이용하여 임시적으로 취부할 수 있다.

・ 지지대(3)를 바 안쪽 면에 위치시킨다.

・ 본 제품을 설치하려는 위치는 어닝의 동작에 방해가 되지 않고, 센서가 손상되지 않는 위치이어야 한다.

・ 바에 지지대의 구멍과 맞는 사이즈의 구멍 2개를 드릴로 뚫은 후, 선택한 방법을 따라서 취부한다. (그림 F, 기술특성 참고)

주의: 지지대에 새겨져 있는 화살표 방향이 위를 향하도록 바에 선택한 방법을 따라서 취부한다.

▶ 그림 D 와 F 참조

4.3. 배터리 넣기

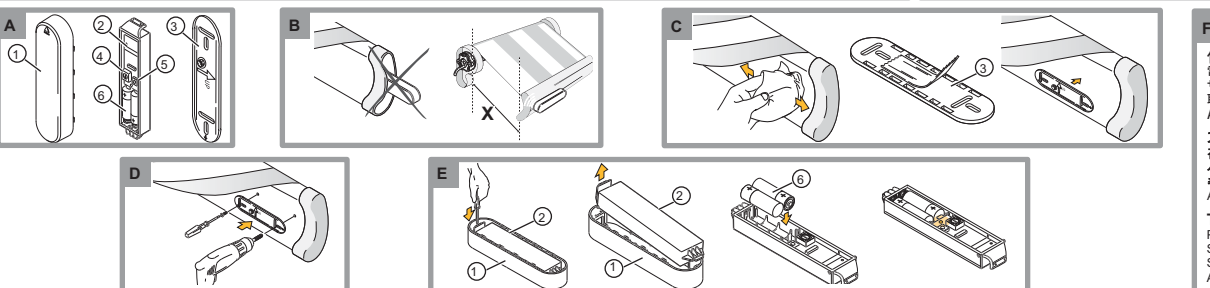
주의: 본 제품에 절대로 충전용 배터리를 사용해서는 안 된다.

・ 드라이버로 케이스에서 센서를 떼어낸다

・ AAA 사이즈 배터리(6)를 센서 안에 끼워 넣는다.

배터리가 극성에 맞게 올바르게 끼워졌으면 LED 램프의 불이 1초 동안 들어왔다 꺼진다.

▶ 그림 E 참조



EN Installation instructions

The Eolis 3D Wirefree RTS is a cordless, independent, three-dimensional motion sensor. It enables the awning to be raised automatically when it is being shaken by the wind. The detection of shaking corresponds to a sensitivity threshold.

The Eolis 3D Wirefree RTS has been designed for terrace awnings with arms, such as canopy, box or cassette awnings. The Eolis 3D Wirefree RTS is compatible with RTS motors, RTS remote controls and RTS sensors from Somfy.

The sensor does not protect the awning against sudden squalls; keep the awning closed if there is a risk of such a meteorological phenomenon.

1. Safety

This Somfy product must be installed by a person with professional knowledge of motorisation and home automation, for whom these instructions are intended.

Never begin installing without first checking the compatibility of this product with the associated equipment and accessories.

These instructions describe how to install, commission and operate this product.

Moreover, the installer must comply with the current standards and legislation in the country in which the product is being installed, and inform his customers of the usage and maintenance conditions relevant to the product.

Any usage outside of applications defined by Somfy constitutes non-compliance, and is therefore not covered by the guarantee. In this event, as for all usages not consistent with the instructions given here, Somfy declines any responsibility for harm or damage.

2. Methods of adjustment

2.1. Predefined threshold adjustment method

Predefined threshold adjustment sets the detection of shaking to one of the threshold values pre-set in the potentiometer. Each value is a threshold of sensitivity to shaking:

- ・ threshold 1 = high sensitivity to shaking: low intensity shaking will cause the awning to close;
- ・ threshold 9 = low sensitivity to shaking: high intensity shaking will cause the awning to close.

Threshold 2 provides sensitivity to shaking under usual conditions. When leaving the factory, the Eolis 3D Wirefree RTS is set to threshold 2.

2.2. Personalised threshold adjustment method

Personalised threshold adjustment will allow the detection of shaking at a sensitivity threshold set by the user. The awning is shaken manually until it rises automatically; the intensity of the shaking caused is recorded by the sensor. If the awning is not shaken before it rises automatically, the sensor switches automatically to the factory pre-set mode: the Eolis 3D Wirefree RTS is

set to threshold 2. Once the threshold has been set, the sensor switches to Demonstration mode for the first two cycles following adjustment. This mode enables the selected setting to be modified easily. Simply pressing the STOP(My) button stops the awning rising and enables the threshold of sensitivity to be modified by shaking the awning again manually.

3. Description of the parts

- 1. Casings
- 2. Sensor
- 3. Support
- 4. Potentiometer
- 5. PROG button
- 6. AAA alkaline batteries

▶ See Illustration A

4. Installation

4.1. Installation recommendations

The Eolis 3D is fixed to the load bar, either at the ends or in the middle. Shaking is most easily detected at the ends.

Caution! The Eolis 3D must never be enclosed in the load bar. Caution! The Eolis 3D only works when the sensor (2) is secured to the bracket (3) and the settings are done.

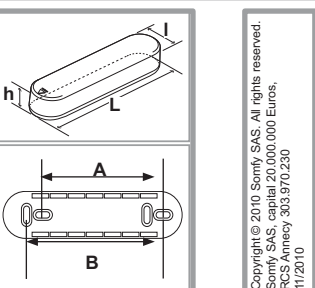
Caution! The sensor's radio range is X = 20 m. Powerful local transmitter equipment (e.g. cordless headphones) with a transmission frequency identical to the Eolis 3D can affect its function.

▶ See Illustration B

仕様
電源: 単4アルカリ電池 2本
サイズ: 25 x 38 x 153mm (h x l x L)
取付部寸法:
A = 93.5 mm B = 120.5 mm

技術特性:
電源供給電圧: 2 AAA 単片アルカリ電池
サイズ: 25 x 38 x 153 mm (h x l x L)
취부 후 사이의 거리:
A = 93.5 mm B = 120.5 mm

Technical characteristics
Power supply: 2 AAA alkaline batteries
Size: 25 x 38 x 153 mm (h x l x L)
Space between the oblong:
A = 93.5 mm B = 120.5 mm



Copyright © 2010 Somfy SAS. All rights reserved. Somfy SAS, capital 20,000,000 Euros. RCS Annecy 303 970 230 1/12/10

JP 5. 設定
5.1. 設定の確認

振動検知感度の設定完了後は、必ず設定された振動検知感度でオーニングが巻き上げられることを確認してください。

5.2. エオリス 3 D センサの登録
登録済みのリモコン裏面にあるプログラムボタンをオーニングが上下小さく動くまで押し続けてください。
- エオリス 3 D センサのプログラムボタン (5) をオーニングが上下小さく動くまで押し続けてください。これで登録は完了です。
▶ イラスト G 参照

5.3. 初期設定の変更
- マイナードライバで感度設定ツマミの位置を変更してください。ツマミ 1 = 検知感度最大 (敏感)、弱い振動でオーニングが巻き上げられる。ツマミ 9 = 検知感度最大 (鈍感)、強い振動でオーニングが巻き上げられる。
- エオリス 3 D センサ (2) をケース (1) に入れてください。
- エオリス 3 D センサ (2) をプレート (3) に固定してください。
- 設定を確認し、必要に応じてツマミの位置を再調整してください。
▶ イラスト H 参照

5.4. ユーザー設定

5.4.1 振動検知感度のユーザー設定
- マイナードライバでエオリス 3 D センサの感度設定ツマミを 0 にしてください。
- エオリス 3 D センサ (2) をケース (1) に入れてください。
- エオリス 3 D センサ (2) をプレート (3) に固定してください。
- オーニングを手で揺らして検知させたい振動を与えてください。
- オーニングが巻き上げられます。
- リモコンを使い、再度オーニングを張り出し、設定時と同程度の振動を一定時間与え続け、オーニングが巻き上げられれば正しく設定されています。
- 設定された振動検知感度を変更したい場合は、「5.4.2 振動検知感度の再設定」で振動検知感度を再設定してください。
▶ イラスト I 参照

5.4.2 振動検知感度の再設定

- オーニングを張り出してください。
- エオリス 3 D センサをプレートからずらす 2 秒待ち、ずらすから 4 秒以内に元に戻してください。
- 注意! エオリス 3 D センサをプレートからずらす状態が 4 秒以上経過した場合は、再度やり直してください。
- オーニングを揺らして検知させたい振動を与えてください。
- オーニングが巻き上げられ始めたら設定は完了です。
▶ イラスト J 参照

6. 使用方法

6.1. 風が吹いてきた場合
風が吹いてもオーニングの振動が設定した振動検知感度を超えるとはオーニングは自動的に巻き上げられません。オーニングが自動的に巻き上げられてから 3 0 秒間はリモコンによる操作はできません。

6.2. 風が止んだ場合
風が止んだから 3 0 秒経過すると、リモコンによる操作が可能になります。
- 太陽光センサーを併用している場合は、陽光センサーによる巻き上げ動作から 3 0 秒後にリモコンでの操作が可能になります。
注意! 晴天、且つ風の強い日は、オーニング保護のため、陽光センサーを OFF にしてください。

7. メンテナンス

7.1. 電池の交換
注意! エオリス 3 D センサには充電式電池を使用しないでください。
電池を交換してもエオリス 3 D センサの設定は保持されます。エオリス 3 D センサ (2) をプレート (3) から取り外してください。
- エオリス 3 D センサ (2) をマイナードライバでケース (1) から取り外してください。
- 単 4 アルカリ電池 (6) を極性の刻印にしたがって装着してください。
- エオリス 3 D センサ (2) をケース (1) に入れ、プレート (3) に固定してください。
▶ イラスト E 参照

7.2. エオリス 3 D センサの登録削除

エオリス 3 D センサの登録削除は、「5.2. エオリス 3 D センサの登録」と同じ手順で行うことができます。
▶ イラスト K 参照

7.3. すべてのセンサの登録削除

注意! 全てのセンサ (エオリス 3 D センサや陽光センサー) の登録削除を行うと、再設定は個々のセンサ毎に行う必要があります。
- リモコン裏面にあるプログラムボタンをオーニングが上下小さく動くまで押し続けてください。
- リモコン裏面にあるプログラムボタンをオーニングが上下小さく動くまで押し続けてください。これらすべてのセンサの登録が削除されます。

7.4. トラブルシューティング

問題	原因	対策
電池を装着しても LED が点灯しない	電池の向きが誤って装着されている	電池の向きを確認し、正しく装着してください

問題	原因	対策
風が吹いてもオーニングが自動的に巻き上げられない	振動検知感度の設定を変更してください	振動検知感度の設定を変更してください
周辺に金属壁などの障害により電波障害が生じている	周辺に金属がないかどうか確認してください	周辺に金属がないかどうか確認してください
エオリス 3 D センサが動作しない	オーニングを揺らしてもオーニングが巻き上げられない場合は、電池を交換してください	電池を交換してください
エオリス 3 D センサが動作しない	電池残量が少なくなっている	電池を交換してください
オーニングが 3 0 分毎に巻き上げられ、LED が常時点灯している	エオリス 3 D センサの電源が切れている	エオリス 3 D センサの電源をプレート (3) へ固定してください
エオリス 3 D センサの電波が弱い	エオリス 3 D センサの電池を交換してください	エオリス 3 D センサの電池を交換してください
エオリス 3 D センサが動作しない	エオリス 3 D センサの電池を交換してください	エオリス 3 D センサの電池を交換してください

特定小電力無線設備について
送信時間に制限があり、送信時間 (連続または断続のボタン操作) が 5 秒に達すると、自動的に 2 秒間の休止時間が設けられています。ボタン操作を行わない状態が 2 秒以上経過すると、休止時間は解除されます。
警告! 本製品は、電波法の認証を取得した製品です。本製品の改造は絶対に行わないでください。

KR 5. 연결
5.1. 특정 안전 지침들

어닝의 연결이 완료되면, 어닝이 설정 한계값대로 동작하는 지 확인한다.

5.2. 센서의 기적
- 모터의 메모리에 이미 프로그램된 리모컨을 준비한다.
- 모터가 인식할 때까지 리모컨의 PROG 버튼을 누르면, 모터가 프로그램 모드로 들어간다.
- 어닝이 짧게 위아래로 움직일 때까지 본 제품의 PROG 버튼 (5) 을 누른다. 본 제품의 메모리에 메모리에 프로그램 된다.
▶ 그림 G 참고

5.3. 사전 설정 한계값 조정

- 전위차계 (4) 란 드라이브를 사용하여 원하는 한계값으로 설정한다. 1 = 혼들림에 대한 높은 민감성; 9 = 혼들림에 대한 낮은 민감성.
- 센서 (2) 를 케이스 (1) 에 끼운다.
- 센서 (2) 를 지지대 (3) 에 맞게 밀어 넣으면 센서가 설정된다.
- 설정상태를 확인 후, 혼들림의 민감도가 올바르게 않으면 수정하도록 한다.
▶ 그림 H 참고

5.4. 개별화된 한계값 조정

5.4.1. 한계값 조정
- 드라이브를 사용하여 전위차계 (4) 를 0 으로 설정한다.
- 센서 (2) 를 케이스 (1) 에 맞게 끼운다.
- 센서 (2) 를 지지대 (3) 에 맞게 밀어 넣는다: 센서가 '개별화된 감지 모드' 로 설정된다.
- 허용 가능한 최대 혼들림 범위를 실험하기 위해 어닝이 자동으로 닫힐 때까지 어닝을 흔든다: 센서가 설정된다.
- 어닝을 펼친 후, 다시 가볍게 흔들어서 바람의 혼들림과 같은 효과를 준다: 어닝을 다시 닫히도록 한다.
- 어닝이 제대로 닫히지만, 본 제품이 올바르게 설정되었음을 나타낸다.
- 만약 어닝이 제대로 닫히지 않으면, STOP 또는 My 버튼을 눌러서 어닝 작동용 멈춘 후 다음의 단계인 '한계값 설정 변경하기' 로 이동한다.
▶ 그림 I 참고

5.4.2. 한계값 조정의 변경

- 어닝을 펼친다.
- 지지대 (3) 로부터 커버와 센서를 분리한 후, 2 초간 기다린다.
- 커버와 센서를 다시 지지대 (3) 에 설치한다. 이때 센서는 '개별화된 감지 모드' 가 된다.
주의: 커버와 센서가 지지대로부터 4 초 이상 분리될 경우, 다시 설치한 후, 위의 2 개의 과정을 되풀이하도록 한다.
- 허용 가능한 최대 혼들림 범위를 실험하기 위해 어닝이 자동으로 닫힐 때까지 어닝을 흔든다: 센서가 설정된다.
▶ 그림 J 참고

6. 사용 방법

6.1. 바람이 불 때
바람이 불면, 어닝은 흔들리기 시작한다.
어닝의 흔들림이 설정된 한계값보다 크면, 어닝이 자동으로 닫힌다.
어닝이 닫힌 후 최소 30 초가 경과해야 리모컨으로 어닝을 다시 열 수 있다.

6.2. 바람이 약해지거나 멈추었을 때

바람이 약해지거나 멈추면, 30 초 경과 후 리모컨을 이용해 어닝을 열 수 있다.
주의: 맑고 바람이 강할 때는 어닝을 보호하기 위해서 '태양' 기능을 해제하도록 한다.
본 제품이 태양선서와 연결되어 있다면, 역시 30 초 경과 후 리모컨을 이용하여 어닝을 열 수 있다.
주의: 맑고 바람이 강할 때는 어닝을 보호하기 위해서 '태양' 기능을 해제하도록 한다.

7. 수리

7.1. 배터리 교환

주의: 본 제품에 실제로 충전용 배터리를 사용해서는 안 된다.
배터리를 교환하는 과정에서 센서에 저장된 메모리를 보호하기 위해서 다음의 과정을 반드시 필요하다.
- 지지대 (3) 로부터 센서 (2) 를 떼어낸다.
- 드라이브를 이용하여, 케이스 (1) 에서 센서 (2) 를 분리한다.
- 배터리 극성에 맞게 AAA 알카라인 배터리 (6) 를 끼운다.
배터리가 올바르게 끼워졌으면 LED 가 1 초가 들어온다.
- 센서 (2) 를 케이스 (1) 에 다시 끼워 넣고, 지지대 (1) 에 고정시킨다.
▶ 그림 E 참고

7.2. 센서 메모리 삭제하기

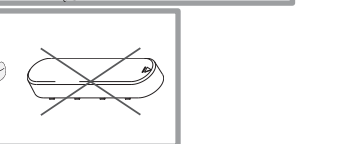
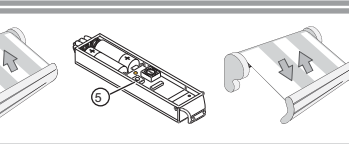
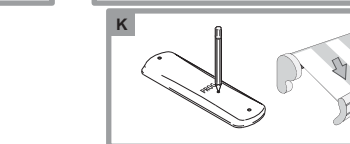
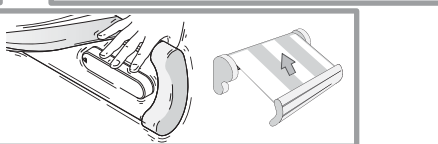
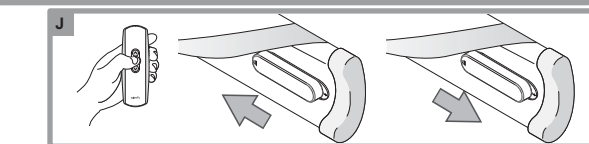
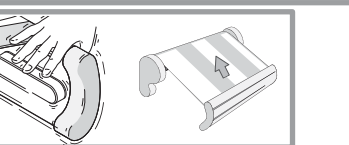
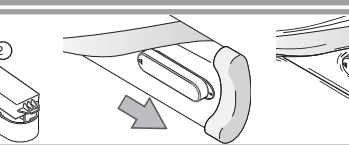
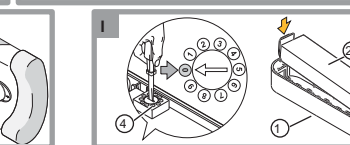
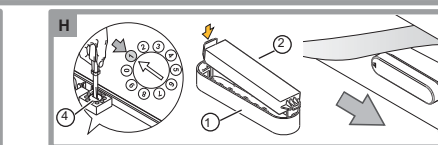
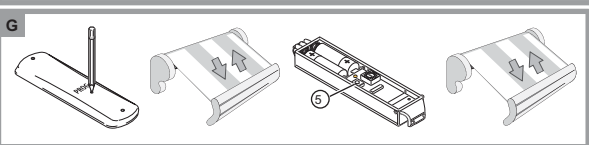
센서에서 모터 메모리를 삭제하려면 '센서에 기억시키기' 단계로 실행한다.
▶ 그림 K 참고

7.3. 센서 해제하기

주의: 재설정하기는 모터와 연결된 모든 센서들 (태양, 바람 등) 의 기억을 지워버릴 수 있다.
- 모터에 맞게 설정되어 있는 리모컨을 준비한다.
- 리모컨의 PROG 버튼을 길게 누른다. 모터는 프로그램 모드에 들어가고, 짧게 상하로 움직인다.
- 만약 모터와 연결된 센서 LED 가 1 초가 길게 들어온다, 어닝이 짧게 상하로 움직인다. 모터에 연결된 모든 센서들의 메모리가 삭제된다.

7.4. 문제 해결

문제	원인	해결 방법
배터리를 넣은 후 어닝이 움직이지 않음	배터리가 제대로 끼워지지 않음.	센서 안에 끼워진 배터리의 극성을 확인한다.
바람이 불 때 어닝이 자동으로 닫히지 않음	한계값이 정확하게 설정되지 않음.	한계값을 수정.
어닝이 흔들리며 닫히지 않음	주변에 진동음을 방해하는 금속 장치를 때문이 RTS 수신율이 낮음.	센서 주변에 금속 제품이 없도록 조치.
어닝이 30 분마다 울러가며, LED 는 항상 켜져 있음	센서 또는 모터가 불량.	어닝을 흔들어서 다시 울러간다.
1 시간에도 한 번 어닝이 울러감	지지대에 센서가 제대로 끼워지지 않음.	센서를 지지대에 다시 설치.
	독같은 특징의 배터리로 교체. 어닝이 계속 울러가면 센서를 교체.	



EN 5. Commissioning
5.1. Specific safety recommendations

Once the awning has been commissioned, make sure that the threshold set enables the awning to be raised.

5.2. Recording of the sensor
- Take a remote control that is already programmed in the memory of the motor.
- Press the PROG button on the remote control until the motor hunts: the motor is in programming mode.
- Press the PROG button (5) on the Eolis 3D sensor until the awning does a short up and down movement: the Eolis 3D sensor is programmed in the memory of the motor.
▶ See illustration G

5.3. Adjustment to a pre-defined threshold

- Set the potentiometer (4) to the desired threshold using a flat screwdriver: 1 = high sensitivity to shaking; 9 = low sensitivity to shaking
- Insert the sensor (2) into the casing (1).
- Slide the sensor (2) onto the support (3) until the end stop: the sensor is set.
- Check the setting and modify it in the event of incorrect sensitivity to shaking.
▶ See illustration H

5.4. Adjustment to a personalised threshold

5.4.1 Adjustment of the threshold
- Set the potentiometer (4) to 0 using a flat screwdriver.
- Insert the sensor (2) into the casing (1).
- Slide the sensor (2) onto the support (3) until the end stop: the sensor is

in «personalised detection» mode.
- Shake the awning to simulate the maximum level of vibration permitted, until the awning rises automatically: the sensor is set.
- Lower the awning then gently shake it to simulate the effect of wind; this should cause the awning to retract:
- If the awning reacts satisfactorily, this means the sensor is set correctly.
- If the awning does not react satisfactorily, stop retraction of the awning by pressing the STOP/My button and go to the next step «Changing the threshold setting».
▶ See illustration I

5.4.2. Modification of the adjustment of the threshold

- Lower the awning.
- Release the cover & sensor assembly from the support (3) then wait for 2 secs.
- Engage the cover & sensor assembly on the support (3): the sensor is in «personalised detection» mode.
Caution! If the cover & sensor assembly is disengaged from the support for more than 4 seconds, re-engage it and then repeat the two previous steps.
- Shake the awning to simulate the maximum level of vibration permitted, until the awning rises automatically: the sensor is set.
▶ See illustration J

6. Method of operation

6.1. When the wind comes up
When the wind comes up, the awning will start to vibrate. If the vibration is greater than the set threshold, the awning will rise automatically; it is impossible to lower the awning using the remote control until at least 30 secs after it has been raised.

6.2. When the wind dies down
When the wind dies down, the awning can be lowered using the remote control after a time lag of 30 secs.
If the Eolis 3D sensor is linked to a sun sensor, the awning can be lowered using the remote control after a time lag of 30 secs.
Caution! When the day is sunny and windy, deactivate the 'Sun' function so as to protect the awning.

7. Repairs

7.1. Replacement of the batteries
Caution! Never use rechargeable batteries to power the Eolis 3D sensor.
The specific adjustments of the sensor are retained in the sensor's memory when batteries are changed.
- Withdraw the sensor (2) from the support (3).
- Remove the sensor (2) from its casing (1) using a flat screwdriver.
- Replace the AAA alkaline batteries (6) with batteries of identical characteristics according to the polarity indicated: the LED will come on for 1 sec to confirm that the batteries have been correctly inserted.
- Replace the sensor (2) in its casing (1) and then on the support (1).
▶ See illustration E

7.2. Deleting the sensor

- Follow the 'Recording the sensor' procedure to delete the sensor from the motor memory.
▶ See illustration K

7.3. Disabling all the sensors.

Caution! Resetting disables all the sensors (sun, wind, etc) associated with the awning motor!

- Take a remote control recorded in the motor.
- Give a long press on the PROG button on the remote control: the motor is in programming mode and performs a short up and down movement.
- Give a long press (7 seconds) on the PROG key of a sensor associated with the awning motor: the awning makes two short up and down movements; all sensors are deleted in the motor's memory.

7.4. Problem solving

Problem	Cause	Action
The LED does not come on after the batteries have been inserted.	The batteries are incorrectly fitted.	Check the direction in which the batteries are inserted into the sensor.
The awning does not rise automatically when the wind comes up.	The threshold is incorrectly set.	Modify the threshold.
	Radio reception is bad because there is a metal obstacle preventing radio transmission.	Check that there are no metal items near the sensor.
The sensor or the motor is out of order.		Shake the awning to raise it back up. If this does not happen, replace the batteries.
		If the awning still does not move, check the sensor and motor.

Problem	Cause	Action
The awning rises every 30 mins and the LED is on all the time.	The batteries are low.	Replace the batteries with batteries of identical characteristics.
The awning rises once an hour.	The sensor is incorrectly inserted in the support.	Engage the sensor into the support.
	The radio link between the sensor and the motor does not work.	Replace the batteries with ones having exactly the same characteristics. If the awning still does not rise, check the sensor.
	The sensor is not operating.	Replace the batteries with ones having exactly the same characteristics. If the awning continues to rise, replace the sensor.